

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・前月末から来客数が急増し、意欲的な客も非常に増加している。また、リフォームに対する需要も強く、久しぶりに3か月先までの契約が読める状況になっている。
	やや良く なっている	百貨店（営業担当）	単価の動き	・3月は卒業、入学、入社などの社会的セレモニーが多く、ファッション関係でも比較的高い単価の商品が売れたため、売上は若干良かった。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・自分の物を買うときは相変わらず決断までの時間が長くなり、単品買いが多い。一方、リクルートなどの場合はまとめ買いがかなり多くみられ、目的によっては客にも買物意欲が出てきたように見受けられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が増加し、客単価も上昇している。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・先月に引き続き、デジカメが数量、金額ともに好調に推移している。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・気温が暖かくなるにつれ、県外からの来客数が昼、夜ともに増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・中心商店街は県庁の移転により相変わらず厳しい状態である。
		一般小売店〔果物〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が依然として少ない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	来客数の動き	・3か月前から来客数が前年比6%程度増加しているが、客単価は相変わらず横ばいである。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・米の売上に占める定番商品の構成比が60%から50%に低下し、その分が特売品にシフトしている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3月はファッションの春戦のピークであるが、商店街の来客数は盛り上がり欠けている。商店街に頼らない、独自の店舗運営が急務である。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・販売台数はほとんどの月で前年並みであるが、すべてのディーラーで1台当たりの単価が低下している。
		乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・家族のいる30～40代のミドルから人気のあるRV車の売行きは前年の7割程度で推移している。
高級レストラン（スタッフ）		販売量の動き	・1年で最も季節指数の高い月であるが、団体利用の少人数化と単価の低下により、前年の実績には届かない。	
都市型ホテル（スタッフ）		販売量の動き	・一般宴会は前年同月に比べて1件当たり売上高が上回る見込みである。また、婚礼施設の新規参入などにより受注件数が減少した婚礼宴会や、前年の団体宿泊利用が今年なくなった宿泊部門とレストランの通常営業などが前年同月を下回るため、全体では前年を大きく下回る見込みである。	
通信会社（営業担当）		販売量の動き	・3月は年間で最大の需要期であり、携帯電話の割引キャンペーン、新機種導入などを実施しているが、新規の販売量に勢いが出てこない。	
設計事務所（職員）	販売量の動き	・受注は次第に厳しくなり、前年の受注ベースを確保できない。また、受注を左右するサービス業務だけが増加している。		
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場の来場者数が増加している。また、住宅に関する減税が話題に上ることがかなり多くなっている。	
やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・今年に入ってから商店街の空き店舗が一層増加し、この流れが止まらない。	
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・今月の気温は例年に比べて3、4度低いため、春物商戦の中で客に買い控えの様子がみられる。また、イラク情勢の影響からオイルなどへの不安感が客から感じられる。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数、客単価ともに前年割れとなっている。低価格志向が依然続き、買上品への吟味が一層厳しくなっている。	
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・3月後半から、ホームセンターなどで入学や入社関連の買物が見られるが、安い商品が中心である。	
	その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	競争相手の様子	・来客数や買上点数などが横ばいもしくはやや減少気味で、売上は若干ダウンしている。このような状況下でも、ドラッグストアの競合店の出店がいまだに止まらない。また、自社の出店も現在進んでいる。	

	一般レストラン（店長）	販売量の動き	・回転ずしでは100円から500円までの皿があるが、客は安い物に走る傾向が強いため、売上が減少している。	
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・大河ドラマなど大型イベントが終了したため、団体客の予約件数が減少している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・特に宿泊部門や大衆レストランの単価の低下がひどい。	
	タクシー運転手	単価の動き	・今月は金曜日が祭日で3連休となったため、週末でも売上が落ち、依然として客の節約ムードが続いている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・3月は送別会終了後に流れる客を夜の街で多少見かけたが、例年ほどの動きはない。また、駅や営業所で客待ちのタクシーが多く見られる。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前に比べて来客数は若干減少している。販売実績も今一歩芳しくない。	
悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・3月の買上客数は前年同月の80%台で、この1年間では前年に比べて最大のダウンである。この要因は去年は気温が暖かく春物や初夏物衣料品が良かったのに比べ、今年は前半から中旬にかけて前年より気温が非常に低かったためである。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・県庁の移転に加え、3月20日で当店の最大の顧客であった地方銀行の店舗が閉鎖され、全く八方ふさがりの状況である。	
	コンビニ（経営者）	それ以外	・客からはリストラや、イラク情勢の影響で輸出が滞るなどの話が新たに聞かれる。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・昨年10月から通行量、来客数ともに非常に減少しており、売上も同様である。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・店内は当店開業以来最も静かである。しかし、不思議と高い大吟醸の酒が売れている。また、一般の食品では多少高くても良い品が売れている。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・売上は前年同月並びに3か月前と比較して2割減少している。	
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて、北米市場は動いていないが、国内の引き合い件数や新規受注は更に増加している。ただし、小型、汎用機械の割合が多い。また、値崩れは落ち着いた。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き、携帯電話及びパソコンのコネクター関係の部品の受注が好調である。数量の動きからみて在庫は底打ちしたものと思われる、若干の増加傾向が続いている。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今まで停滞していた民需系のIT投資が最近ようやく動き出し、いくつかの案件が前へ進んでいる。そろそろ低下に歯止めがかかったように思われる。	
変わらない	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して、注文ロットが特別大きくなっているとは思えない。	
	精密機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・眼鏡は春の新型シーズンのため、競争相手もすべて忙しそうであるが、季節指数を考慮すると、やはり年末以降若干悪い状況が続いている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末工期の仕事により、結構忙しい日が続いている。また、前倒しの工事がかかり出てきている。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・カメラ付き携帯電話に買い換える客は順調に増加しているが、企業の経費節減から解約数も増加している。	
	司法書士	取引先の様子	・よほど資金的に余裕のある人しか不動産の売買を行わないとか、会社の設立が非常に少ないなど、経済取引に慎重さが感じられる。	

	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・既存商品の落ち込みが顕著である。また、販売数量を確保するため、価格ダウンの要求が強くなっており、市場は非常に縮小している。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・市場の冷え込みとともに価格面での競争が非常に厳しい。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・量、価格ともに一層下がり気味で、この先良くなる傾向もみられない。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・採算確保が困難な価格で入札する業者が増加しており、異常な競争状態となっている。
金融業（融資担当）		取引先の様子	・受注が減る一方であるという取引先が多い。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人の絶対数が少しずつではあるが増加している。また、将来に向けて有能な人材を求める前向きな話もちらほら出てきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・3月の求人件数は前年同月を超えている。ここ3か月は前年を上回っているため底を脱した感がある。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は東京、名古屋、大阪を含めた全社では前年比1割の増加となっている。地元ではパートが求人中心となっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数の増加傾向は依然変わらないが、年明けから年度末にかけて人員整理による離職者が増加し、この求職者の滞留が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・就職内定者数が前年をやや下回っている。
	やや悪くなっている			
悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・求人、求職のミスマッチが一層ひどくなっており、採用がスムーズに進んでいない。	